

## 平成27年度事業実績について

安全で商品性の高い農産物の安定供給と生産性の向上を図るため、関係機関、団体と密接な連携を図りながら、農薬の安全・適正使用の推進を始めとして、効率的な防除の推進、新農薬の普及性の実証及び農業航空防除等の各種事業を推進した。

### 事業実施の概要

#### 1 農薬安全・適正使用及び効率的な防除の推進

安全・適正使用に繋がる農薬の危被害防止やポジティブリスト制度及び短期暴露評価に対応した適正な農薬使用と併せて、病害虫の発生状況に応じた効果的な病害虫の防除を推進するため、防除業者、農薬販売業者及びJ A・県等の指導者などを対象とする各種研修会を開催した。

また、難防除病害虫や新奇病害虫等の防除対策資料を作成・配布するなど、防除情報や技術対策情報の提供に取り組んだ。

##### 主な実施項目

##### (1) 危被害防止研修会の開催

対象者：防除業者、農薬販売業者、ゴルフ場関係者、農薬管理指導士等  
研修会の内容：

- ① 農薬取締法、農薬の適正使用（県営農支援課）
- ② 上手な農薬の選び方と使い方（県営農支援課）
- ③ 毒物及び劇物取締法（県中央、都城、延岡保健所）

表1 開催概要

開催月日	開催場所	参加者数
1月5日	宮崎市（J A・AZMホール）	163名
1月6日	都城市（ウェルネス交流プラザ）	31名
1月7日	延岡市（J A延岡会館 大ホール）	90名
合	計	284名

## (2) 植物防疫研修会の開催

### (第1回)

開催日：平成27年9月1日

場 所：宮崎市 JA・AZM別館302号室

対象者：市町村、JA、経済連、農薬製造メーカー、  
農薬卸組合、種苗協会宮崎県支部、農薬小売商組合、県  
合計 77名

研修会の内容：

- ① 持続的農業関連施策  
ア 宮崎県における植物防疫に関する方針と施策  
イ 宮崎県の環境保全型農業に対する取組と今後の方向性
- ② 持続的農業技術の取り組み事例と解説  
宮崎県において普及させるICM技術などの内容と今後の方向性

### (第2回)

開催日：平成28年3月8日

場 所：宮崎市 県総合農試研修棟

対象者：市町村、JA、経済連、NOSA I連、農薬製造メーカー、  
農薬卸組合、農薬小売商組合、県  
合計 110名

研修会の内容：

- ① トビイロウンカに対する各種本田散布剤の防除効果  
(県総合農試生物環境部)
- ② チャトゲコナジラミの県内での発生状況  
(県病虫害防除・肥料検査センター)
- ③ 本県への侵入を警戒する病虫害  
(県病虫害防除・肥料検査センター)
- ④ 県内の施設果菜類に発生するミナミイロアザミウマ及びヒラズハナアザミウマの薬剤感受性  
(県総合農試生物環境部)
- ⑤ さといも疫病の発生生態  
(県総合農試生物環境部)

## (3) 宮崎県農薬管理指導士新規養成研修の開催

開催日：平成27年12月2日

場 所：宮崎市 JA・AZM大研修室

対象者：農薬取扱者（JA、農薬販売店等）、防除業者、ゴルフ場職員等  
86名が受講・受験し、81名が認定された

研修会の内容：

- ① 植物防疫一般（植物防疫・農薬行政）  
(営農支援課)
- ② 関連法令（農薬取締法、毒物及び劇物取締法）  
(営農支援課・医療薬務課)
- ③ 病虫害、雑草防除等  
(総合農試作物部・営農支援課専技担当)
- ④ 農薬管理指導士の任務  
(営農支援課)
- ⑤ 農薬一般（農薬の種類、特性等）  
(総合農試生物環境部)
- ⑥ 農薬安全性評価、各種基準  
(総合農試病虫害防除・肥料検査課)
- ⑦ 農薬の安全使用、危被害防止対策等  
(営農支援課)

(4) 病虫害発生予察情報の印刷・配付

・ 28回 (3, 100部)	
予報	12回
注意報	4回
防除情報	12回

(5) 農薬適正・安全対策資料及び防除対策資料の作成・配付

①農薬適正・安全対策資料 (農薬危被害防止研修会資料、植物防疫研修会資料)	500部
②農薬安全・適正使用啓発資料	700部
③病虫害防除対策等推進資料	18,400部
ア 秋から冬にしておくさといも疫病対策	
イ 定植直前から収穫までのさといも疫病対策	
ウ 施設栽培におけるキュウリ黄化えそ病 (M Y S V) のポイント (増刷)	
エ 宮崎県GAPステップゼロ (増刷)	
④平成28年版病虫害・雑草防除等指導指針	1,100部
⑤農業航空防除危被害防止・安全対策資料	50部
⑥農薬展示ほ成績書	100部

(6) 難防除病虫害防除技術の実証

施設野菜の栽培終了後に残さの分解促進のための資材を施用し、病虫害の増殖抑制及びと次期作に向けた土壌消毒効果安定の技術実証を行った。

- ・ 対象品目：ナス、キュウリ、ミニトマト
- ・ 実施場所：宮崎市内5ヶ所

## 2 農薬展示ほ設置事業

県病虫害・雑草防除等指導指針や地域の防除暦策定の資料とするため、西臼杵支庁・各農林振興局(農業改良普及センター)等関係機関の協力を得て、新たに登録あるいは適用が拡大された農薬を中心に展示ほを設置し、防除効果等の検討を行った。

表2 農薬展示ほ設置状況 ( )は前年度

	部 門	農 薬 数	展 示 箇 所 数
農薬	水 稻	49 ( 34)	82 ( 73)
	茶	6 ( 5)	18 ( 9)
	畑作(大豆)	0 ( 0)	0 ( 0)
	野 菜	61 ( 68)	90 ( 90)
	花 き	13 ( 5)	31 ( 6)
	果 樹	14 ( 10)	34 ( 22)
	飼料作物	1 ( 3)	2 ( 5)
	飼料イネ	12 ( 7)	21 ( 17)
資材	野 菜	2 ( 4)	3 ( 7)
	花 き	0 ( 3)	0 ( 2)
合 計		158 (139)	281 (231)



(2) 危被害防止安全対策について

事業開始前に航空防除実施地区において危被害防止対策研修会を開催し、危被害の防止対策と飛散防止等の安全対策について協議した。

① 農業航空事業危被害防止等対策会議（平成27年7月21日）

場 所：小林市須木庁舎

参加者：実施団体、航空会社、農薬メーカー、小林市 他関係機関 22名

内 容：航空防除に伴う危被害防止対策について  
航空機運航上の安全対策について  
散布農薬の特性と安全対策について

(3) 平成27年度農林水産航空事業有人ヘリコプター推進事業

有人ヘリを利用した事業を安全かつ効率的に実施するため、一般社団法人農林水産航空協会から助成を受け、実施組織の体制整備及び安全対策の普及・啓発を行った。

交付額：JAこばやし（水稻） 40,000円

須木栗振興協議会 10,000円

内 容：危被害未然防止等会議の開催、安全対策広報指導活動、  
地区別座談会での資料配付 等

5 農業航空事故対策補てん事業

航空防除事業は、危被害防止等の安全対策には細心の注意を払い実施しており、適正な管理のもとで航空防除が実施された結果、事故の発生はなかった。

・補てん金支払実績 なし

6 宮崎県植物防疫60周年記念事業

記念誌発刊のために、資料・画像データの収集、整理を行った。